

# バッテリーパック交換手順書

## 警告



- バッテリー端子には絶対に触らないでください。感電する恐れがあります。
- コネクタに棒・指などを入れないでください。感電する恐れがあります。



- 塩分や腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。火災・故障の原因になります。
- バッテリーパックは定期的にメンテナンスを実施してください。
- 寿命になったバッテリーを使用しているとバッテリーの劣化が進み、漏液・感電・火災の恐れがあります。
- バッテリーコネクタの端子は絶対にショートさせないでください。
- 火傷・感電・発煙・発火の恐れがあります。

## 注意

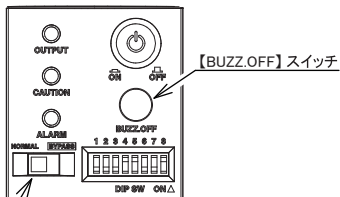


- バッテリーの充電のために24時間運転をおすすめします。寿命に至ったバッテリーはリサイクルします。そのまま廃棄せず、お買い上げの販売店・当社拠点にご連絡ください。
- UPS運転中に接続負荷のシステムを停止せずにバッテリーパックの交換をする際には、UPS本体のメンテナンススイッチをBYPASS側に切り替えてください。

## 作業の前にUPS本体付属の取扱説明書をお読みください。

### BATTERY PACK交換手順

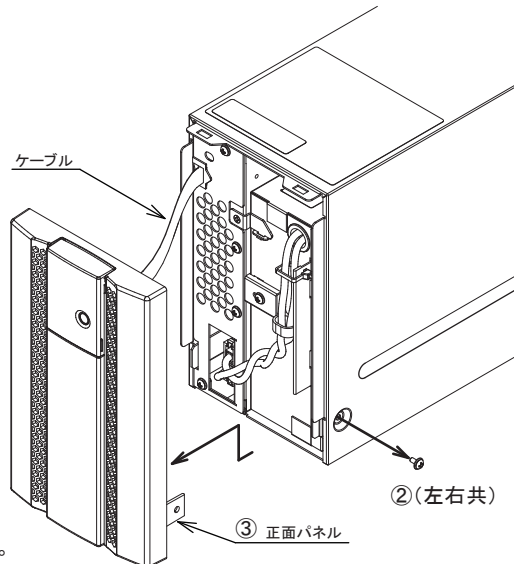
- ① UPS本体のメンテナンススイッチをBYPASS側にしてください。



## 注意

ケーブルが抜けると【電源断】となります。

- ② 正面パネルを固定しているネジ（左右2本）を外します。
  - ③ 正面パネル下部を手前に引いて外します。
- ※このとき、正面パネルと本体はケーブルで接続してありますのでケーブルを傷つけたり引き抜いたりしないように注意してください。ホットスワップでの交換の際、正面パネルをぶら下げた状態にするとケーブルが外れ電源断となることがありますのでご注意ください。

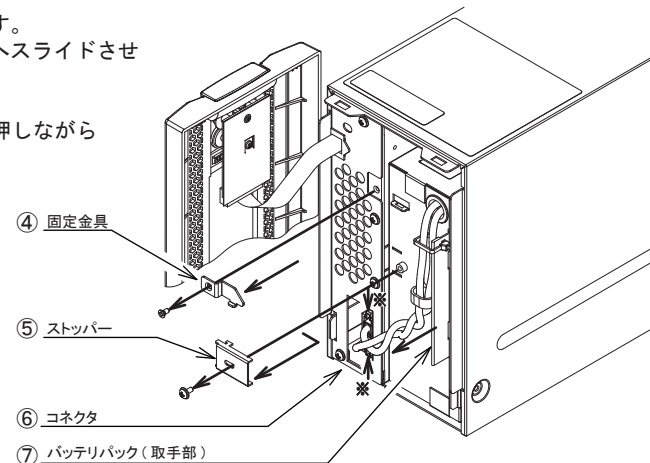


本UPSのバッテリーパックの交換は、ホットスワップ方式を採用しております。UPS運転中に接続負荷のシステムを停止させること無く、バッテリーパックの交換が可能です。停止状態でも可能です。

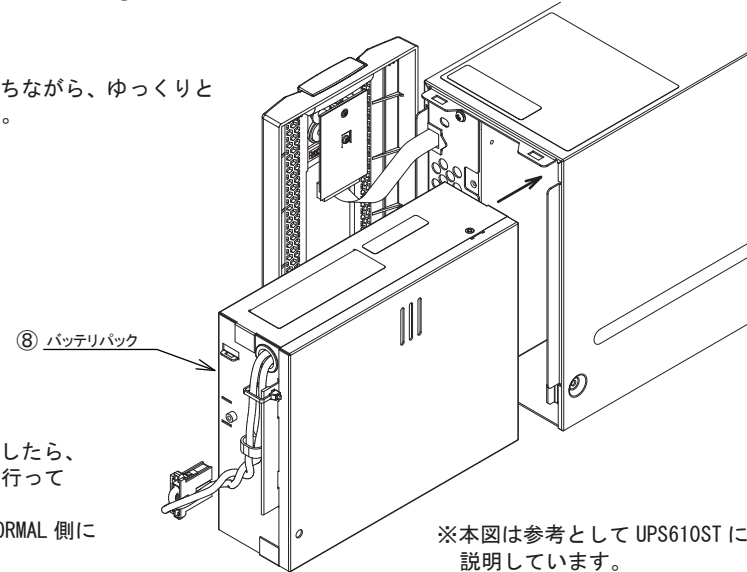
## 注意

重量物につき、バッテリーパックの底面を持って移動・設置してください。落下させるとけがの恐れがあります。

- ④ 固定金具のネジを外し、固定金具を外します。
  - ⑤ ストッパーのネジを外し、ストッパーを右へスライドさせ外します。
  - ⑥ バッテリーパックのコネクタを外します。コネクタ両側のロック爪を図の※→方向に押しながらゆっくりと引き抜いてください。（電線を引っ張らないでください）
  - ⑦ 古いバッテリーパックの取手を持ってゆっくりと引き出します。（電線やコネクタを引っ張らないでください）
- その際、両手でしっかり保持し落下に注意してください。



- ⑧ 新しいバッテリーパックを水平に保ちながら、ゆっくりと奥まで確実に押し込んでください。



- ⑨ バッテリーパックの取り付けが完了したら、手順を逆に⑥→⑤→④→③→②と行って組み立ててください。
- ⑩ 最後にメンテナンススイッチをNORMAL側にしてください。

### バッテリー寿命カウンタのリセット

バッテリーパックを取り付けた後は、引き続きバッテリー寿命カウンタをリセットします。

#### リセット方法

- 1) UPSを待機状態（入力ケーブルを商用電源に接続）または運転状態にします。
- 2) 正面パネル上の【BUZZ.OFF】スイッチを約10秒間長押しします。ブザーが「ピッ。」となってリセットが完了します。

対象弊社製UPS： UPS610ST  
UPS1010ST  
UPS1510ST  
UPS710STF  
UPS1010STF